

# 土砂防 だより



富士山静岡空港（6月25日）

静岡県支部通常総会開催	2
全国治水砂防協会総会開催	3
土砂災害防止月間活動	4
• 急傾斜地パトロールの協働実施	
• 「みんなで防ごう土砂災害フェスタ」開催	
土砂災害に対する全国統一防災訓練実施	6
平成20年度 砂防関係事業の代表的な完成箇所	8
インフォメーション	10
直轄事業の紹介	11
募集・お知らせ	12

## 特集 第64回全国治水砂防協会 静岡県支部総会

### 土砂災害防止月間活動

### 土砂災害に対する全国統一防災訓練



全国治水砂防協会静岡県支部

本県の砂防事業の重要性を訴える

# 静岡県支部通常総会を開催

5月25日(月)、全国治水砂防協会静岡県支部の平成21年度(第64回)通常総会を静岡市内で開催しました。

総会では、副支部長の小室富士宮市長が議事に先立ち、「当県は、1万5千箇所を超える土砂災害危険箇所が存在し、土砂災害の危険性は非常に高く、逼迫する東海地震など、地震対策としても土砂災害対策は重要な課題である」と砂防事業の重要性を訴えました。続いて、中野国土交通省砂防部長、花森副知事、浜井県会議長、岡本全国治水砂防協会常務理事、全国治水砂防協会理事の斉藤衆議院議員より御祝辞をいただきました。

この後、議案の審議が行われ、平成20年度の事業報告・収支決算報告、平成21年度の事業計画・収支予算等が原案どおり承認されました。続いて、役員の変更が行われ現行の役員が留任となりました。

総会終了後、中野砂防部長から「最近の砂防行政について」と題して講演をいただきました。滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。



花森副知事の祝辞



斉藤衆議院議員の祝辞



岡本常務理事の祝辞

## ＜平成21年度事業計画の概要＞

- 1 砂防事業の周知・啓発・普及
  - ①国・県の実施する事業への協力
    - ・「土砂災害防止推進の集い(全国大会)」への協力
  - ②会員による先進地視察研修の実施
    - ・砂防関係事業現地視察
  - ③砂防関係担当職員に対する研修会の開催
    - ・市町等砂防担当職員研修の開催
    - ・土砂災害防止法講習会の開催
  - ④他機関の実施する講習会等への参加
- 2 砂防事業等促進要望の実施
- 3 「砂防だより」や砂防関係図書の発行
- 4 全国治水砂防協会への協力



浜井県会議長の祝辞



小室副支部長の挨拶(役員会)



中野砂防部長の講演

# 全国治水砂防協会通常総会開催される

5月20日(水)、(社)全国治水砂防協会の平成21年度(第73回)通常総会が、砂防会館で開催されました。

当日は会員多数出席のもと、静岡県選出の斉藤斗志二衆議院議員をはじめ、多くの国会議員が来賓として出席されました。当支部からは、副支部長の原田袋井市長をはじめ、15名の会員に御出席いただきました。

総会は、綿貫会長による主催者挨拶、金子国土交通副大臣の祝辞に続き、議事では平成20年度の事業報告・収支決算報告、平成21年度の事業計画・収支予算等が承認されました。

お忙しい中、御参加をいただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。

## (社)全国治水砂防協会 通常総会



綿貫会長の挨拶



金子国土交通副大臣の挨拶



大久保理事長の報告

## 本県の参加市町

袋井市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、函南町、川根本町、森町、伊豆市、富士宮市、島田市、磐田市、小山町(計14市町) ※太字は本人参加

## 功 労 者 表 彰

総会終了後、砂防事業推進に関する功労者として、全国治水砂防協会会長賞を櫻井河津町長が受賞されました。

櫻井町長は、静岡県支部会計監査役として、長年に渡り砂防事業の促進や、砂防協会の発展に多大な功績を残されました。



表彰を受ける櫻井河津町長



受賞者の皆さん

平成21年度

# 土砂災害防止月間活動 6/1～30

みんなで防ごう土砂災害

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。

平成20年は、集中豪雨、台風などにより全国各地で695件、県内で17件の土砂災害が発生しましたが、幸いにして県内では人的被害はありませんでした。

国土交通省と静岡県では、梅雨時で雨量が多く地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすい6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

## 主な活動

- 急傾斜地パトロールの実施
- 広報活動の推進
- 「みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)」の開催
- 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集及び展示
- 土砂災害防止講習会の開催 など

～住民と砂防ボランティアとの協働～

## 1 急傾斜地パトロールの実施

6月1日から6月16日に、県内の728箇所（速報値）の急傾斜地崩壊危険区域において、地域住民や砂防ボランティア、土木事務所、地域防災局、市町、警察、消防、計718人（速報値）が協働で、防止施設の異状の有無、法面の崩壊、排水路の機能状況などを点検しました。

施設の破損や小規模な崩壊などの、異状が確認された箇所については、早急に改善設置を講じていきます。



急傾斜地パトロール実施状況

## 2 市町における広報活動の取り組み

各市町村では、広報誌、ホームページ等を活用して、土砂災害対策の重要性を広報していただくとともに、庁舎の横断幕・懸垂幕の掲示、公用車を活用した啓発広報の実施、土砂災害防止講習会の開催など、土砂災害防止広報活動に取り組んでいただきました。

——— みんなで防ごう土砂災害 ———

### 日頃の備えと早めの避難

土砂災害防止月間 6/1～6/30

がけ崩れ防災週間 6/1～6/7

～あなたと家族を守るために～

- 危険な場所を調べておきましょう
- 避難の道順を決めておきましょう
- 雨に注意し、情報に気を配りましょう
- 避難の準備をしておきましょう

問合せ 河川課 ☎221-1446

広報しずおか（5月15日号）

広報誌への掲載	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、熱海市、伊東市、沼津市、伊豆の国市、函南町、小山町、静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、川根本町、磐田市、掛川市、森町、御前崎市、浜松市、新居町
ホームページで広報	磐田市、御前崎市
土砂災害防止講習会の開催	東伊豆町、熱海市、沼津市、裾野市、伊豆市、函南町、小山町、静岡市、島田市、藤枝市、磐田市、袋井市、森町、浜松市
ラジオ	島田市、浜松市

## 3

## 平成21年度（第27回）土砂災害防止推進の集い（全国大会）において 県内1団体が「土砂災害防止功労者」を受賞

6月2日（火）、山梨県甲府市において、土砂災害防止推進の集い（全国大会）が土砂災害防止月間（6月）の一環として、国土交通省と山梨県の共催により開催されました。

静岡県内の関係者では、静岡市清水区大内地区でボランティア活動をしている「NPO法人 森と水辺を育てる会」が、永年にわたり静岡市都市山麓グリーンベルト事業への協力による土砂災害に強い里山づくりを目指した活動を行い、土砂災害の防止及び土砂災害防止思想の普及に尽力されたことに対して、国土交通大臣より土砂災害防止功労者として表彰を受けました。なお、今回受賞されたのは、全国で1個人7団体であり、昨年の岩手宮城内陸地震で功績のあった団体等と並んでの名誉ある受賞となりました。

また、大会は「人は石垣、人は城、-風林火山の防災-」をテーマに開催され、昭和41年の足和田災害など、土砂災害と闘ってきた永い歴史を踏まえて、砂防関係施設の整備の重要性、警戒避難体制の整備等のソフト対策の重要性についてシンポジウムや現地研修会が実施されました。



表彰を受ける大木理事長と深澤副理事長

## 4

## みんなで防ごう土砂災害（土砂災害防止説明会）の開催

6月6日（土）、土砂災害の恐ろしさや、砂防事業の重要性を県民のみなさまに理解していただくため、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害フェスタ（土砂災害防止説明会）」が開催されました。

この行事は、平成8年から「砂防フェスタしずおか」として開催されてきたもので、国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡県、静岡市、静岡地方气象台が共催し、土砂災害防止に関するパネル展示などが行われました。



職員から説明を受ける来場者



山腹工の模型を展示



パネル展示を見る来場者

# 土砂災害に対する全国統一 防災訓練を実施

6月7日(日)、全国一斉に「土砂災害に対する防災訓練」が実施されました。

この訓練は、梅雨前線豪雨等による土砂災害の発生に備え、災害に対する警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を図ることを目的に、全国の市町村で実施されました。

本県では32市町において、地元地域住民や行政関係者など約1,800人が訓練に参加し、土砂災害警戒情報の伝達訓練や避難勧告の発令に伴う避難所への避難訓練などを実施しました。

また、6月7日以外に5月31日(日)下田市、6月21日(日)掛川市、6月28日(日)沼津市において訓練を実施しました。

## 訓練参加 市 町

下田市、南伊豆町、西伊豆町、松崎町、河津町、東伊豆町、熱海市、伊東市、沼津市、三島市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町、富士市、富士宮市、芝川町、静岡市、焼津市、藤枝市、島田市、川根本町、牧之原市、御前崎市、袋井市、磐田市、森町、掛川市、菊川市、浜松市、新居町 (計34市町)

## 訓練の状況



東伊豆町大川地区  
(ハザードマップ説明)



熱海市伊豆山地区  
(避難状況)



伊東市宇佐美塩木道地区  
(避難名簿作成)



伊豆市小川山田地区  
(危険箇所看板説明)



伊豆の国市戸沢地区  
(災害要援護者支援)



函南町上沢大洞  
(現地対策本部)



小山町生土地区  
(現地対策本部)



富士市今宮地区  
(土砂災害防止講習会)



静岡市葵区春日三丁目地区  
(訓練後意見交換)



焼津市浜当目地区  
(土砂災害防止講習会)



藤枝市中田地区  
(ハザードマップ確認)



島田市川根町身成地区  
(土砂災害防止講習会)



川根本町平栗地区  
(土砂災害防止講習会)



牧之原市菅山地区  
(アマチュア無線情報伝達)



袋井市友永地区  
(避難状況)



磐田市寺谷坊上地区  
(土砂災害防止講習会)



森町大久保地区  
(土砂災害防止講習会)



浜松市北区滝沢地区  
(避難状況)

平成20年度

# 砂防関係事業の代表的な完成箇所

## 砂防事業

やまかわみぎしせん

### ●山川右支川砂防えん堤工 (伊豆市土肥地先)



平成19年7月に土砂災害が発生したため、災害関連緊急砂防事業により砂防えん堤工を実施し、人命と国道136号等の保全を図りました。

ないやくぼさわ

### ●ネイヤ窪沢砂防えん堤工 (浜松市北区引佐町伊平地先)



土石流や流木による災害を未然に防ぐため、砂防えん堤工を実施し、人命と国道257号等の保全を図りました。

おきつたきのさわ

### ●興津滝ノ沢砂防えん堤工 (静岡市清水区興津本町地先)



土石流や流木による災害を未然に防ぐため、砂防えん堤工を実施し、人命とJR東海道線等の保全を図りました。

からすがわ

### ●烏川溪流保全工 (伊東市宇佐美地先)



平成16年10月の台風22号により流木の流下が著しかったため、上流の治山事業と調整し、溪流保全工を実施、人命と主要地方道伊東大仁線等の保全を図りました。

## ●砂防事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
大久須川	賀茂郡西伊豆町宇久須	410.0	13	砂防えん堤工 H=10.5m・L=40.5m
山川右支川	伊豆市土肥	222.8	19	砂防えん堤工 H=12.0m・L=55.0m
入田川	裾野市須山	282.0	15	砂防えん堤工 H=11.0m・L=87.0m
興津滝の沢	静岡市清水区興津本町	146.6	16	砂防えん堤工 H=9.5m・L=42.0m
ネイヤ窪沢	浜松市北区引佐町伊平	114.5	16	砂防えん堤工 H=6.0m・L=31.0m
烏川	伊東市宇佐美	86.0	16	溪流保全工 L=144.0m、流木止工 H=5.0m・L=30.0m
木和田川	藤枝市岡部町岡部	25.0	19	床固工 H=3.0m・L=13.0m
大津谷川	島田市大草	73.0	16	溪流保全工 L=234.0m
三沢川	掛川市山崎	91.0	15	溪流保全工 L=265.7m



## 急傾斜地崩壊対策事業

### えのうらしめんざか ●江之浦四面坂急傾斜 (沼津市江浦地内)



がけ崩れによる災害を未然に防ぐため、対策工事を実施し、人家27戸と緊急輸送路である国道414号の保全を図りました。

### みやた ●宮田急傾斜 (御前崎市新野地内)



がけ崩れによる災害を未然に防ぐため、対策工事を実施し、人家8戸の保全を図りました。

### まりこせりがや ●丸子芹ヶ谷b急傾斜 (静岡市駿河区丸子地内)



がけ崩れによる災害を未然に防ぐため、対策工事を実施し、人家67戸の保全を図りました。

### たきのやがわ ●滝之谷川地すべり (掛川市上西郷地内)



地すべり災害が発生したため、対策工事を実施し、人家14戸と県道掛川川根線の保全を図りました。

## ●急傾斜地崩壊対策事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
田牛三太山	下田市田牛	84.0	19	擁壁工 L=119.6m、法枠工 A=98㎡
見高浜	賀茂郡河津町見高浜	376.0	13	擁壁工 L=336.8m
子浦高見場	賀茂郡南伊豆町子浦	91.4	16	擁壁工 L=72.7m
岩地郷戸	賀茂郡松崎町岩地	182.0	17	擁壁工 L=239.8m
江浦四面坂	沼津市江浦	136.2	16	擁壁工 L=140.2m
市山新田No.2	三島市市山新田	57.0	18	法枠工 A=1,281㎡
土肥中村	伊豆市土肥	340.8	14	擁壁工 L=371.3m
小土肥出口	伊豆市小土肥	121.4	18	擁壁工 L=103.3m
大平田	伊豆市小下田	30.9	18	擁壁工 L=42.4m
西沢No.2	駿東郡小山町生土	99.0	18	擁壁工 L=122.3m
生土松葉B	駿東郡小山町生土	48.0	17	法枠工 A=1460㎡
上沢下人原	田方郡函南町上沢	19.1	20	法枠工 A=776㎡
坂下	富士市岩渕	55.0	19	法枠工 A=1,181㎡
陣笠山	静岡市清水区町屋原	171.5	16	擁壁工 L=173.7m
寺下	静岡市清水区西山寺	98.2	18	擁壁工 L=129.8m、法枠工 A=1,033㎡
東倉沢	静岡市清水区東倉沢	35.8	19	法枠工 A=277㎡
郷島大林	静岡市葵区郷島	58.8	18	擁壁工 L=82.1m
落合川島	静岡市葵区落合	188.6	12	擁壁工 L=131.3m
丸子芹ヶ谷b	静岡市駿河区丸子	173.2	17	擁壁工 L=559.8m
岡出山	藤枝市岡出山	401.0	14	頭部ワイヤー連結工 A=5,427㎡ (既存木活用)
笹間下上河内上	島田市川根町笹間下	126.0	17	擁壁工 L=163.6m
宮田	御前崎市新野	137.1	13	擁壁工 L=196.7m
中西	御前崎市新野	111.9	14	擁壁工 L=244.8m
上比木	御前崎市比木	50.6	17	擁壁工 L=90.8m
宮脇池村	掛川市宮脇	92.7	15	擁壁工 L=175.3m
八幡ヶ谷	菊川市下平川	133.4	17	擁壁工 L=377.4m
阿蔵	浜松市天竜区阿蔵	40.0	18	擁壁工 L=68.0m

## ●地すべり対策事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
滝之谷川	掛川市上西郷	474.0	14	集水井1基、鋼管杭N=23本、横ボーリングL=1,710m
滝之谷川No.2	掛川市上西郷	150.0	15	鋼管杭 N=23本、横ボーリングL=1,820m

## 大内グリーンベルト地区で恒例の「タケノコ掘り」イベントを実施

4月26日(日)、静岡市清水区大内グリーンベルトモデル地区内の杉谷津沢で、地元の小学生たちを対象に恒例のタケノコ掘りが行われました。このタケノコ掘りは、竹林の増殖を抑制し、健全な法面を保持する大切な作業です。子供たちの貴重な体験学習になることから、「わんぱくたかべ倶楽部」(地元PTAボランティア)が計画し、「森と水辺を育てる会」が協力する形で行われています。この日は、地元の高部小学校、高部東小学校の親子も含め約200名の参加があり、育てる会の指導のもと行われました。

タケノコ掘りを体験した子供たちからはたくさんの笑顔を見ることができました。



タケノコ掘りの様子

## 環富士山火山防災連絡会総会が開催される

5月29日(金)、富士山周辺の静岡県側9市町と山梨県側7市町村による「環富士山火山防災連絡会」総会が、山梨県環境科学研究所(富士吉田市)で開催されました。総会では、平成20年度事業報告、平成21年度事業計画が承認されました。また、役員交代があり、会長に西桂町長、副会長に御殿場市長となりました。

また、富士砂防事務所から、平成20年度第2回富士山火山砂防計画検討委員会の検討結果並びに平成20年12月3日に実施した富士山の噴火時を想定したロールプレイング訓練についての報告がありました。

さらに、総会終了後には研修会が開かれ、山梨県環境科学研究所所長の荒牧重雄氏(富士山ハザードマップ検討委員会委員長)より「富士山巨大噴火の防災対策」についての講演がありました。



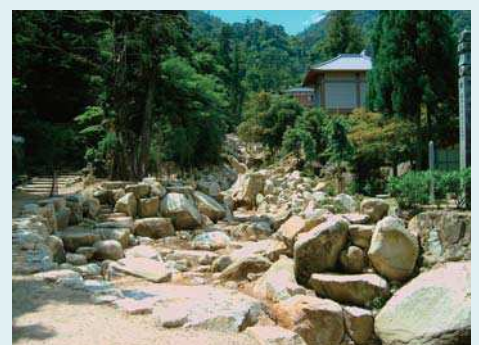
## 地すべり学会中部支部総会が開催される

6月17日(水)、平成21年度(社)日本地すべり学会中部支部総会及び講演会が長野県長野市で開催されました。総会では、支部長による主催挨拶、長井長野県砂防課長の来賓挨拶に続き、議事では平成20年度の事業報告・収支決算報告書、平成21年度の事業計画・収支予算が承認されました。

また、岐阜大学工学部教授、八嶋厚氏による「近年頻発する地盤災害から学ぶ」や長野県信濃美術館学芸課学芸係長、岸田恵理氏による「東山魁夷が描く風景」と題した特別講演が行われました。

## 平成21年度(社)砂防学会通常総会ならびに研究発表会が開催される

5月27日(水)～29日(金)、「平成21年度(社)砂防学会通常総会並びに研究発表会」が、広島市で開催されました。総会后、広島市安佐南区自主防災会連合会の原田会長より「自主防災組織における取り組みを振り返って」、またNHK広島放送局の出山アナウンサーより「土砂災害警戒情報をどう報道に生かすか～6.29災害放送の教訓～」と題して特別講演がありました。現地研修会では、宮島の庭園砂防である「白糸川溪流砂防」と「紅葉谷川庭園砂防」を現地視察しました。



# 直轄事業の紹介

今回は狩野川の直轄砂防事業の紹介をします。

昭和33年9月26日、伊豆半島東岸を通過した台風22号（狩野川台風）は、狩野川流域に驚異的な豪雨をもたらし、「筏場の大崩壊」のような山腹崩壊や土石流が多発し、上流部は壊滅的な被害を被り、死者・行方不明者853名、重軽傷者735名、家屋被害6,775戸という、我が国災害史上6番目の大災害となりました。

この災害を契機に、翌昭和34年より伊豆市（旧修善寺町・天城湯ヶ島町・中伊豆町）修善寺橋上流域を直轄砂防区域とし、荒廃復旧及び流出土砂災害防止のための砂防事業の促進を図ってきました。

このため、狩野川水系全体としての氾濫による危険度は漸次改善されてきています。しかし、上流域には341箇所もの土石流危険渓流があり、近年、観光・温泉・保養地等恵まれた立地条件から土地利用が進み、一度災害が起こると、大規模な災害になることが予想されます。さらに、当区域は、幾筋もの活断層が分布し、地震が発生しやすい地域であり、地盤がゆるんだ箇所では土砂災害が発生しやすく、砂防施設の整備促進が重要視されています。

その一方で、美しい自然環境・豊かな生態系・温泉・観光等狩野川独自の特性を生かす溪流環境の保全・利用への配慮も必要です。

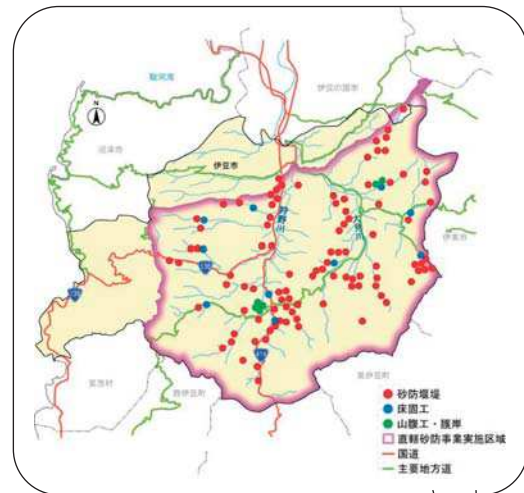
今年度は、日向地区砂防えん堤群、深沢川床固群、丸ノ沢砂防えん堤等の整備を進めていきます。



徳永床固工群 (伊豆市徳永)



本洞沢砂防えん堤 (伊豆市月ヶ瀬)



国土交通直轄砂防事業施行位置図

## 【平成21年度】土砂災害防止啓発用品の紹介等

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しました。御活用いただきまして、ありがとうございました。



## 募 集 コ ー ナ ー

### 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため、絵画・ポスター・作文を募集します。

【募集対象】小学生

【応募期間】6月1日～9月15日

【応募方法】作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)、を明記して下さい。

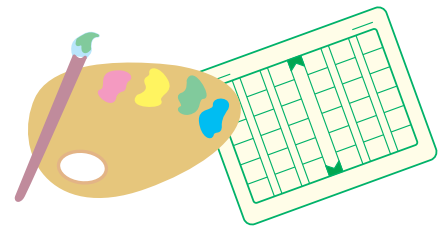
【応募先】〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県建設部砂防室 土砂災害対策スタッフ

TEL054-221-3042 FAX054-221-3564

詳細は、砂防室ホームページからご覧いただけます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



平成21年 8-10月  
砂防関係の  
主な行事

8月 20～22日 市町長等砂防事業視察(九州)

26～29日 (社)日本地すべり学会研究発表及び現地見学会(新潟県)

9月 1日 防災の日

下旬 (社)日本地すべり学会中部支部現地検討会(岐阜県)



【表紙写真】

富士山静岡空港  
<6月25日>

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

### 編 集 ・ 後 ・ 記

土砂災害防止月間の季節を迎え、各地で土砂災害が発生しています。当協会では、土砂災害に関する防災意識の普及を促進するため、国・県が主催する「みんなで防ごう土砂災害フェスタ」に参加しています。

人的被害を出さない為にも、一人一人の防災意識が重要になりますので、早めの避難をお願いいたします。

今月をもちまして砂防協会を退職させていただく事となりました。砂防協会を通じて多くの貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございます。今後とも当協会への御理解と御協力、また砂防だよりの御愛読をお願いいたします。

砂防室ホームページのアドレスに移転しました。お手数ですが、ブックマークの変更をお願いします。  
砂防室新HP：<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>